

# かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園  
平和学園小学校  
2014年度 学校だより 第14号  
〒253-0031  
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2  
Phone 0467-87-1662/ 0131  
Fax 0467-87-0411  
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2014年度)

これらすべてに加えて、愛を身につけなさい。愛はすべてを完成させる  
きずなです。(コロサイの信徒への手紙 3章14節)

一年の終わりに

校長 橘 明子

空を見上げると木々の枝につぼみが膨らみ始める季節となりました。小学校では巣立ちのときを迎え、卒業生は6年間過ごした学び舎から、たくさんの思い出とともに羽を大きく広げて巣立っていきました。ありがとうございます。皆さんがこの小学校に残してくれたものは、下級生や先生方のかけがえない思い出として心の中に刻まれたことでしょう。

この一年間の学校生活を振り返り、一番心に残ったことはどのようなことでしょうか。毎朝聖書を開き賛美した礼拝のこと、たくさんの行事のこと、友だちと喧嘩をしたこと、一緒に笑い、一緒に泣いた友だちのこと。振り返れば思いでは数え切れないくらいです。その思い出の中にたくさんの大切なことが詰まっていることだと思います。

毎朝、静かに流れるピアノの音に、心も体も神さまに向けて礼拝の始まる時を待つ子どもたちの姿に成長を感じました。聖書には、神さまからのメッセージが書いてありました。理解することはなかなか難しいように思いましたが、「神さまを愛すること」「隣人を愛すること」の大切さが伝わったのではないのでしょうか。

小学生という年齢は、まだまだ大人の支えが必要な時ですから、一緒にさまざまな事柄を経験し、共感して成長することが望ましいでしょう。生活の自立が出来る時、大人の私たちももう手を離しても大丈夫だと思ってしまいます。逆に幼児期のように手を出しすぎてはなかなか成長できません。ちょうどよい関わり方を見つけるには時間がかかるかもしれませんね。子どもたちが学校教育の中で、しっかり学び自分で考えて行動できるように、これからも支えていきたいと思います。

今年度、保護者の皆様にはたくさん支えて頂きありがとうございました。

